

## 教職員のための霞ヶ浦湖上体験スクール結果報告書



- 1 開催日時：8月28日（水）9時から16時20分
- 2 開催場所：ラクスマリーナ・霞ヶ浦・環境科学センター・つくば市・土浦市
- 3 参加者：8名
- 4 実施内容

### (1)教職員研修の説明(ラクスマリーナ)

教職員のための霞ヶ浦湖上体験スクールの内容についての説明を行いました。

- ①水辺のすこやかさ指標についての研修。
- ②湖上体験スクールでの研修。
- ③センター長からの講義、水質調査の実習。
- ④桜川での河川調査、1カ所目はつくば市松塚、2カ所目は土浦市土浦橋付近。

### (2)河川の調査についての説明(ラクスマリーナ)

「水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）」は、環境学習で活用できるように作成されたものである。川の自然なすがた、生き物、水のきれいさ、快適さ、普段の生活での利用など、の視点から川を取り巻く環境を調べる際に活用できる指標である。多様な視点から川などの水環境を見ることを学ぶことができ、学校での総合学習や住民・NPO等の環境学習において、地域に根ざした環境学習で活用できる。

### (3)湖上体験スクールの様子(船上)

船の中で、紙芝居による霞ヶ浦の説明を聞きました。土浦入りで停船して水質の調査を行いました。当日は、アオコが筋状に発生していました。透明度板を使って透明度を測定しました。2種類の試料水（霞ヶ浦の水、水道水）をポリビンに入れて臭いを嗅ぎました。さらに、2種類の試料水（霞ヶ浦の水、水道水）を使ってパックテストでCODの測定を行いました。

### (4)「霞ヶ浦の現状及び河川との関係」センター長（センター）

霞ヶ浦の水質や霞ヶ浦の水利用、そして河川と霞ヶ浦の関係についての講義がありました。さらには植物や魚の状況などについての説明もありました。

主な内容。霞ヶ浦に流入する河川。霞ヶ浦の水収支。水質の経年変化。霞ヶ浦の漁業。霞ヶ浦に生息する外来種等。

## (5)水質調査の実習（センター）

### ①透視度計の使い方の研修

透視度計で霞ヶ浦の透視度を測定しました。水のすこやかさ指標では、透視度計を使って透視度を測定します。

### ②顕微鏡でのプランクトンの観察

湖上体験スクールで採水した水をもとに顕微鏡でプランクトンの観察を行いました。植物プランクトンはアネベナ、ミクロキスティス、動物プランクトンはゾウミジンコが確認できました。

## (6)桜川での河川調査（つくば市松塚）講師：桜川漁業組合 鈴木組合長

鈴木組合長からは、桜川で採れる魚や桜川の水質及び漁獲の変容についての説明がありました。最近ではアメリカナマズが増えており、在来の魚が減っているとのことでした。

投網で魚の採集を行っていただきました。珍しい四つ手網の紹介していただきました。センター職員による植物についての説明を受けました。ヨシやヤナギなどの植生が見られました。

水辺のすこやかさ指標による観察を行いました。この地域は、自然のままの河川が残っている地域であり、魚やその棲み場多くました。植物も多く、種類も多様でした。漁業が行われており、人と河川とのつながりも強い地域です。

## (7)桜川での河川調査（土浦市土浦橋付近）

土浦橋付近の桜川で、水辺のすこやかさ指標を使った観察を行いました。センター職員による植物や魚の説明がありました。土浦橋より下流はコンクリートの護岸ですが、この場所は河川が直線化されていますが自然の状態が保たれている地域でした。

## (8)教職員研修の振り返り（ラクスマリーナ）

桜川の調査の振り返りを行いました。

- ・つくば市松塚付近は、自然の状態が多く残っている。
- ・土浦市土浦橋付近では自然は残っているが、やや人工的な部分がある。

参加者から研修を終えての感想を話していただきました。

- ・専門家の方からこれまで知らなかった内容を教えていただくことができました。
- ・実際にいろいろな体験ができて、とても有意義な研修でした。

図1 霞ヶ浦環境科学センター版 「水のすこやかさ調べ」ワークシート



